

神樹の会会報

No. 41
平成9年5月20日

発行所：神樹の会
発行人：水野 整一

本部事務所（六甲作業支援センター内）
〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号 ☎821-1533
六甲作業支援センター
〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号 ☎821-1533
明芳デイスサービス
〒654 神戸市須磨区大田町6丁目4-4 ☎735-8835
垂水作業所
〒655 神戸市垂水区星陵台4丁目4番45号 ☎782-9675
福祉の店「いたやど」
〒654 神戸市須磨区大黒町2丁目2-12 ☎733-2477

神樹の会も創設二十八年になる。第一回の卒業生は五十才を超えた年頃である。神樹の会も創設、維持発展の度に数々の曲がり角に遭遇した。それらを克服したのは役員諸氏の適切な指導と会員の結束にあった。

もともと神樹の会は友生養護学校のPTAを基盤として自然発生的にできたものである。障害がある卒業生の進路に不安を抱いた親たちが四帖半でもよいから職場をもち交流の場としたいとの念願から生まれたものである。それが多数の同志の結束を経て対市交渉となり、六甲、垂水の作業所が生まれ、更に各所にデイスサービスができたのである。垂水養護学校が設立され、同校のPTAの参加もあり、今や会員数は九百を超え、重度障害者施設設立資金もかなりの額を蓄積するようになった。

ところが年と共に卒業生の進路は何かししてもらえないようになり、在校生の親たちも付

神樹の会の正会員の活動は、各事業所の運営のほか、バザーの時間などは大きく分けて四か所で行われている。東OB、西OB、友生養護学校、垂水養護学校の四本柱である。その一つのPTAがこの度の総会で会則の改正が多数決でなされた。関係者の言によると、それが施行されると、神樹の会の活動は今までと大きく変わって来るであろう。

神戸市で最初の小規模作業所、第一号のデイスサービス事業、等を手がけ、神樹の会は神戸市の援助で学校卒業後の身体障害者の幸せを求め障害者福祉に寄与してきている。またこれからも会員の熱望であるショートステイや療護施設、障害者の自立のための福祉ホームなどお願いしなくてはならない多くのことが山積していることから見て、より一層の助け合いが求められなくてはならないのである。

平成7年度・8年度卒業の方々は、それぞれの方で歩んでおられたと思いますが、それぞれの進路を振り返って、どのような返答をいただきましたか？

- * 親が車に乗れず、送迎して下さる所を探した。
- * 新しくできた所だから、実習に行った結果、本人が選んだ。
- * 家からも近いので、西区にDSはなく、しあわせの村は遠い。
- * 姑の入院など、家が落ち着くまで在宅する。

学校時代から交流して、その流れで行った。

いろいろな事をやりたいと思って、市職員採用試験を受けたが入れなかったの、今の所を選んだ。

勉強したい意欲から進学した。

卒業年度の夏に開設されたので自分達はラッキーだと思っている。

近くて便利、送迎もある。

地域にデイスサービスがない。

子どもの状態に合っている。

子どものペースに合わせて指導してもらっている。

親がずっと付き添わなくてもよい。

添いから解放され自由に行動できるようになると、神樹の会の行事に参加しなくとも何とかなるのではないかと思うようになった。神樹の会という全体的な制約より個人として自由に行動したいのである。考えてみれば当然のことと思われるが、個人が集団を離れ、ばらばらになっただけでは対社会交渉は無力なものとなり、個々の孤立化は益々深まってくる。

一人は万人のために、万人は一人のために。の教訓は、根本的に崩れざると思われ。一人の会員の担う些細な負担や関心を忘れては全体の享有する福祉は霧散するであろう。無関心型や孤立化は容易であろう。しかし、それはやがて同じ苦悩を享有する集団の得る福祉を放棄することになりかねない。

今後はさらに、一人ひとりが発言し積極的に責任を分担するプラス志向に向かって本会の結束に寄与しようではないか。

神樹の会の目ざすところ

神樹の会名誉会長 枝野 一夫

《お詫び》

会報第40号（平成8年12月発行）「ショートステイができる施設紹介」の中で、「白由園」と掲載いたしました。が、正しくは「博由園」でしたので、訂正してお詫びいたします。

あしたの扉を開けよう



お知らせ

八年度より名称が変わった六甲作業支援センターの一階部分に青木集いの家のデイスサービスが引越してきています。本会が運営する東部デイスサービスが魚崎デイスサービスに移管されて以来、名称を青木デイスサービスと変更し

運営し続けてきましたが、九年度より六甲作業支援センターに統合されることになりました。これは神戸市保健福祉局と社会福祉法人神戸明輪会の要請によるもので、運営は神樹の会がすることになっていきます。今までも二つの事業所であったものが一つの会計でまかなわなくてはならなくなりました。利用をご希望の方は事務局までお問い合わせください。



日時：平成9年6月15日(日)
午後1時30分～
場所：神戸市勤労会館
3階 308号室
議題：平成9年度事業報告
平成10年度予算 他

ささやかな喜び

織田 良子

自分の生き方にそして子ども達を育てていくうえで、自分自身に自信をつけるために本を読むことが多くなってきました。そんななかで出会った言葉です。

「ささやかな喜び」を知っている親は、子どもに非現実的なほど高い要求をしない。子どもの現実を受け入れている。子どもが大成して世間を見返さなくても、その親は幸せである。」

この言葉は、子をもつ親として決して容易なことではないと思います。かなりの時間が必要とされるでしょうが、先ず、その子のあがままを受け入れることから、何かが始まり出したように思います。

日一日、ほんとに小さな小さなささやかな発見が見えてきます。感激屋さんといわれるほどに。周囲に温かい思いと理解の目は、子ども達自身で新たなエネルギーに意欲にと、続けていくことができると思っています。現実を踏まえていけば、その子にとって小さなしかし的確な課題、夢も見えてくるように思っています。それを到達するためには、子どもにとっても親にとっても、また長い時間が必要だと思います。しかし、この「ささやかな喜び」を決して失うことがなければ、頑張っている！希望をもち続けることができる！そして幸せであることができる！そう確信することができます。

（友生養護学校中学部二年生母親）

ひととき

ご存知ですか？ こんな施設

東垂水デイスサービス
在宅障害児(者)昼間一時保護

★場所 垂水区城が山2丁目2-3
★利用時間 平日：午前9時～午後7時
土曜・休日 ～午後5時
★休館日 水曜日
★問い合わせ・申し込み ☎753-3099

冠婚葬祭はもちろん、介護者のリフレッシュにも、どうぞお気軽に!!

光に包まれた 夢... 聞かされた あなたの お世話になりました...

お世話になりました...

今春の人事異動により、いつもお世話になっていた神戸市保健福祉局障害福祉部長 松尾弘氏の後任に藤井良三氏が、また障害相談課長は下大知則氏から正垣純三氏への異動がありました。そして中川広師友正養護学校長が転任され、新しく田中等校長先生が赴任されました。また、友生、垂水両養護学校で計32名の教員の方々が退職、転任されました。平成8年度、友生、垂水両養護学校の卒業生10名はそれぞれの道を歩みだしました。

お世話になりました

前友生養護学校長 中川 広師

このたび鷹匠中学校へ転動になりました。友生養護学校では二年間の短い期間でしたが、その間、神樹の会の皆様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。短い期間であったとはいえ、私にとっては友生養護学校での経験は大変貴重なものでした。一年目よりは二年目と考える視点が変わるなど、まだまだ勉強も、努力もしなければならぬことの多さを痛感しました。今後は、校種こそ違いますが、障害児教育の一人の理解者として微力ながら努力したいものと思っております。神樹の会の皆様のご健康と会のますますのご発展をお祈りします。



▲垂水養護学校高等部卒業生のみなさん



▲友生養護学校高等部卒業生のみなさん

感謝

平成8年11月から平成9年4月までに次の方々より尊い寄付をいただきました。

- 大橋 慧様
- 橋田 エイコ様
- 梅越 清敏様

- 転出
- 中川 広師
 - 大畠 香子
 - 木場 薫
 - 村田 貴美
 - 小林 則子
 - 前原 昌和
 - 米田 和博
 - 岡崎 記三子
 - 坊山 晴美
 - 三宅 寛子
 - 小谷 広司
 - 杉本 悦子
 - 吉田 利広
 - 上条 和代
- 養護学校
- 鷹匠中学校校長
 - 本山第二小学校
 - 西宮養護学校
 - 池田市立石橋小学校
 - 垂水養護学校
 - 垂水養護学校
 - 福池小学校
 - 魚崎小学校
 - 有野台小学校
 - 港島小学校
 - 向洋小学校
 - 和田岬小学校
 - 鶴甲小学校
 - 舞子小学校

- 退職
- 長澤 英明
 - 澤田 明美
 - 石原 節子
 - 中尾 仁美

友生

- 松本 恵子様 (平成六年度 神戸市立垂水養護学校卒)
- 浜田 早知子様 (神戸市立豊学校卒)
- 岡本 晶様 (平成元年度 神戸市立友生養護学校卒)
- 岩瀬 啓二郎様 (平成七年度 神戸市立友生養護学校卒)
- 正木 敬容様 (昭和四十九年度卒 正木良子さんの父親)
- 石川 宣司様 (平成八年度卒 石川貴之さんの父親)

計報

平成八年十二月より平成九年四月までに次の会員の方々が亡くなりました。心よりお悔やみ申し上げます。

- 転出
- 小網 正利
 - 山田 友久
 - 西本 友彦
 - 上山 剛明
 - 習田 麻里
 - 植村 睦
 - 松下 あかね
 - 三浦 多枝子
 - 川下 謙一
 - 中島 公彦
 - 大前 洋介
- 養護学校
- 雲雀丘中学校
 - 稗田小学校
 - 青陽西養護学校
 - 玉津第一小学校
 - 魚崎小学校
 - 青陽西養護学校
 - 水木小学校
 - 友生養護学校
 - 友生養護学校
 - 榎谷中学校
 - 内地留学



「目に青葉 山ほととぎす 初鯉」の季節となりました。会員の皆様、お元気で過ごしてはいかがでしょうか。会報第四十一号をお届けします。

神樹の会も二十六年が過ぎ、新しい価値観、新しいメッセージを求めて変革が必要になって参りました。会員の皆様よろしくご協力お願いいたします。ご意見、その他何でも編集委員までお寄せ下さい。

- (田村 伊藤 宮家 鳥住 吉岡)
- 日高 西村 黒田 松岡 宮脇)